

文化ボランティアで豊かな社会、幸せな人生を！

はじめに

■あらためてボランティア活動の基本理念を考えてみる

★4つの基本理念

★又エック初代館長縫田曄子さんの言葉

「（自己犠牲や奉仕活動ではなく）持てる知識や技能で自己実現し、それが社会に還元される活動…それが本来のボランティア…」

※Question：家事や主婦の仕事はボランティアか？

■活動のなかからの文化ボランティア論 ～自己紹介かたがた～

<「社会教育」11月号 ARTICLE 参照>

文化ボランティアを3つの視点から考える

（1）我が国の文化ボランティアの流れを簡単に紹介

河合隼雄さんによる文化ボランティアの定義

（2）身近な地域社会における文化ボランティアの実際

たとえば、社会教育施設ボランティアとは？

（3）それぞれの人生にとっての“ボランティア”とは？

生きがい 家族 地域・コミュニティ 職場 遊びの仲間

生き方の指針 生きるエネルギー？

結びにかえて ～伝えたいこと～

★「市民意識にもとづき社会参加を積極的に進めるような活動……！」

ボランティアという英語をどのような日本語にするかに際して。（吉澤英子さんの思い）

★「世界を救うのは国連ではなくて、NPOのネットワーキングの力！」

日本初のネットワーク会議でネットワークの提唱者スタンプス夫人の言葉

★文化ボランティアを提唱した河合隼雄さんの本当の思い

「文化力で日本を元気にしないとだめです！ 武器で国を守るより文化で国を守ったほうがよほどいい。例えば、韓国や中国と文化交流をすることで戦争をしないで済むようにする。そういう文化力が必要だし、そういう文化ボランティアが育てほしいのですがねえ～！」

※自分の<学びの場>は自分で作る！